

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業パーパス

Sweeten the Future 心がひとつぶ、大きくなる。

売上高
365億円

営業利益
49億円

経常利益
49億円

親会社株主帰属当期純
34.5億円

2 中長期の経営戦略

1. ブランド基軸経営の深化

商品開発力の高度化とスピード向上に取組み。2027年7月稼働開始予定の朝日工場新グミラインで生産体制を整備・強化。

3. 経営基盤の強化

人財採用・育成・定着と処遇改善。2025年7月稼働開始の基幹システムとAI活用で業務効率化と生産性向上。

2. 事業基盤の変革

米国・中華圏を中心とした輸出版売拡大。ヒットブカンロ事業・デジタル事業で顧客接点強化と新収益モデル構築。

4. 研究開発の推進

「素材を活かす」「キャンディならではの機能性」を軸にサステナビリティを意識した継続投資でイノベーション創出。

3 対処すべき課題

① キャンディ市場での競争激化

- 商品開発力の高度化とスピード向上が必須
- 主力ブランド販売拡大と新規ブランド上市の継続実施

② グローバル展開と事業基盤拡大

- 米国・中華圏での輸出版売拡大
- 米国市場での確固たる事業基盤確立
- デジタルプラットフォームを活用した新収益モデル構築

③ ガバナンス体制と危機対応強化

- 各種BCPとサイバーセキュリティ対策の強化
- コンプライアンス意識向上への継続的社内研修

面接で使えるポイント

- Kanro Vision 2.0の実現に向け、2025年12月期から2030年12月期の中期経営計画2030を推進中。
- 2027年7月稼働開始予定の朝日工場新グミライン導入で、ブランド基軸経営を支える生産体制の整備・強化を実現。
- キャンディ市場でトップシェアを維持しながら、米国・中華圏への輸出版売拡大とデジタルプラットフォーム「Kanro POCK ...

証券コード 2216

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに
菓子食品事業を主力事業とする食品メーカー

主力事業・セグメント

・食料品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・営業利益率13.5%の安定した収益性

・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
348億円営業利益率
13.5%財務健康度
67点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 56.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収

723万円

食料品内 42位/120社

平均年齢

39.2歳

食料品内 100位/121社

平均勤続

13.9年

食料品内 74位/121社

女性管理職

18.0%

食料品内 20位/106社

男性育休

100.0%

食料品内 17位/92社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は...）

直近ニュース一言

参考: Metro Ad Creative Award 2025 カ

